

使用方法

《座板座板の高さ調整のしかた》

座ったまま座高調節レバーを持ち上げると座はさがり、腰をうかせて座高調節レバーを持ち上げると座はあがります。適切な位置でレバーを離すと座高が決まります。

⊙座の上に立たないでください。
→倒れてけがをする原因になります。

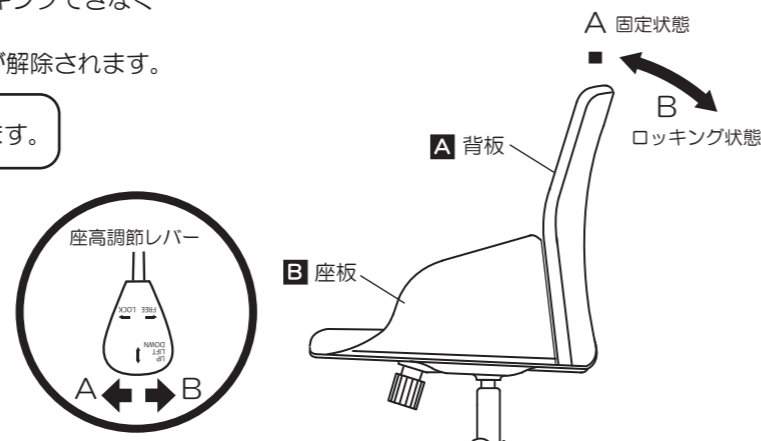


《背板・座板ロックの固定と解除》

A：背板を直立させた状態で座高調節レバーを座受金具側に押し込むと背板が直立した状態で背板・座板が固定され、ロックできなくなります。

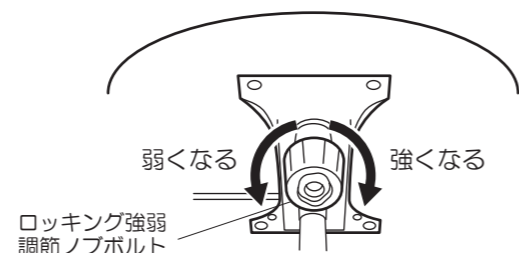
B：座高調節レバーを外側に引き出すと背板・座の固定が解除されます。

※背板・座板の固定は背が直立した状態でのみ行えます。



《ロックの強弱の調節》

右の図を参考にして、背もたれのロックの強弱を調節してください。



組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。
ご使用の前には取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています

警告 「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意 「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

●お守りいただく内容を示しています

禁止 「行ってはいけない」内容です。

必ず守る 「行わなければならない」内容です。

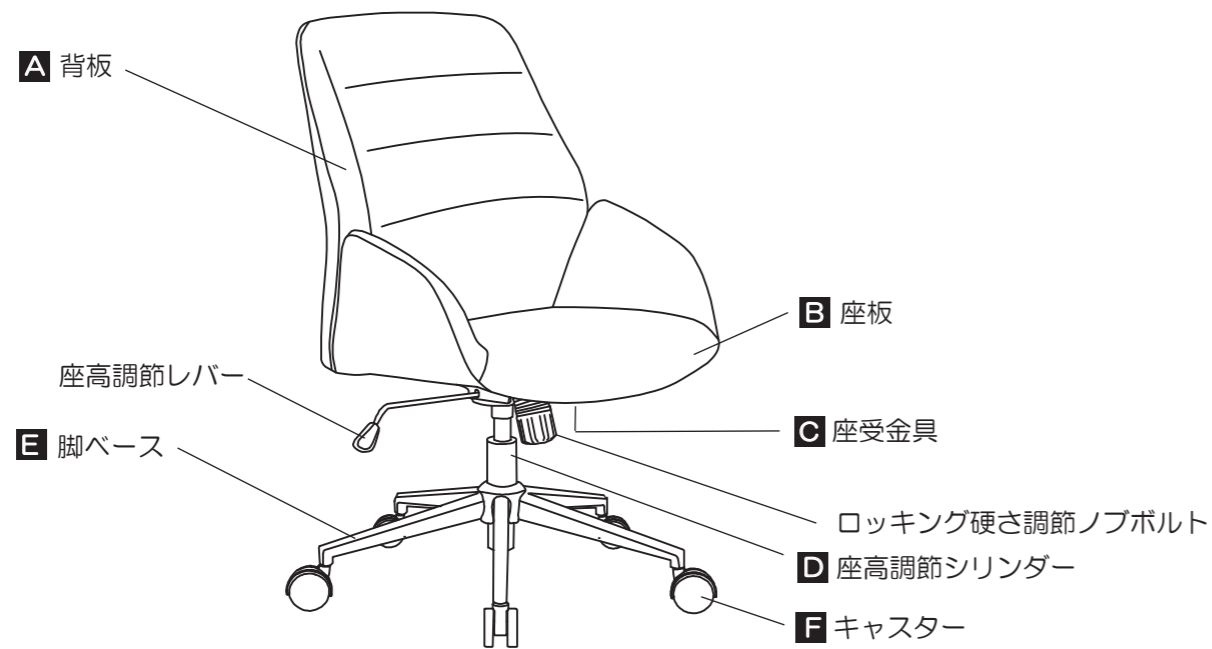
注意

●組立および設置時の注意

| | |
|-------------|--|
| 禁止 | 組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。 |
| 禁止 | 直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。 |
| 必ず守る | 回転いすは組立完成後に脚ベース、座高調節シリンダー、座板がしっかりと固定されているか必ず確認してください。 →固定が不十分なままですと、イスを持ち上げた時に脱落してけがや破損する恐れがあります。 |

TONAL A1 【品番】 ●KWy-261 LB ●KWy-262 PK ●KWy-263 BE
●KWy-264 GR ●KWy-265 NB

各部の名称



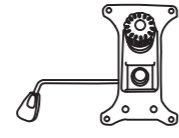
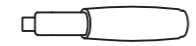
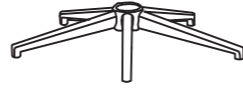






イラストは実際の商品と多少異なる場合があります。

付属品について

※開梱後、以下のパーツ・組立部品が入っているか確認してください。

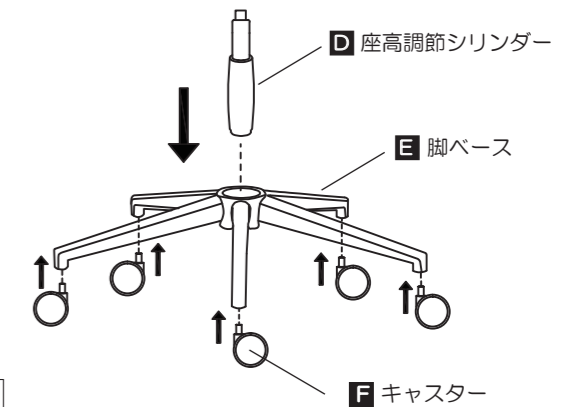
■パーツ・組立部品

| A | B | C | D | E |
|---|---|---|--|---|
| 背板 | 座板 | 座受金具 | 座高調整シリンダー | 脚ベース |
|  |  |  |  |  |
| ×1 | ×1 | ×1 | ×1 | ×1 |
| F | G | H | I | |
| キャスター | 組立ボルト (20mm) | 組立ボルト (30mm) | 六角レンチ | |
|  |  |  |  | |
| ×5 | ×4 | ×4 | ×1 | |

組立方法

1. 座高調整シリンダーと脚ベースとキャスターの組立

- E 脚ベース先端裏面の穴に、F キャスター (5コ) を差し込んでください。
- D 座高調整シリンダーの下方 (太い方) を E 脚ベースに確実に挿入してください。

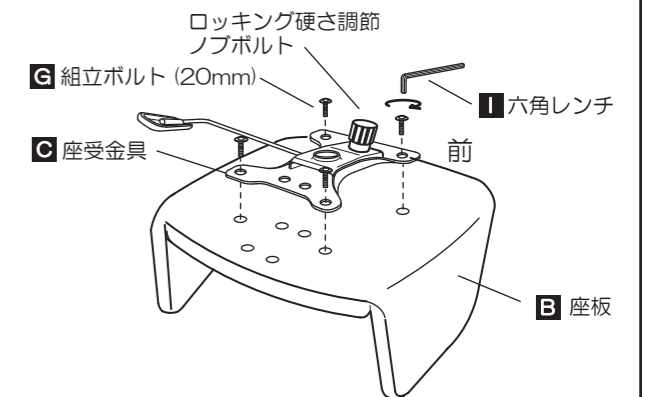


2. 座板と座受け金具の組立

- B 座板裏面 4カ所の穴 (外側 4カ所) に C 座受金具の穴位置を合わせ G ボルト (20mm) を I 六角レンチで留め、固定してください。
(この時の方向は、ロッキング硬さ調節ノブボルトが前になる様に合わせてください)

① 組み立てボルトは最初から強く締めずに仮締めしておき、4本とも取付けしてから最後に本締めをしてください。
→ 組み立て出来なくなる恐れがあります。

① 本締めは組立ボルトが回らなくなるまで強く締め付けてください。
→ 座板が外れてけがをする原因になります。

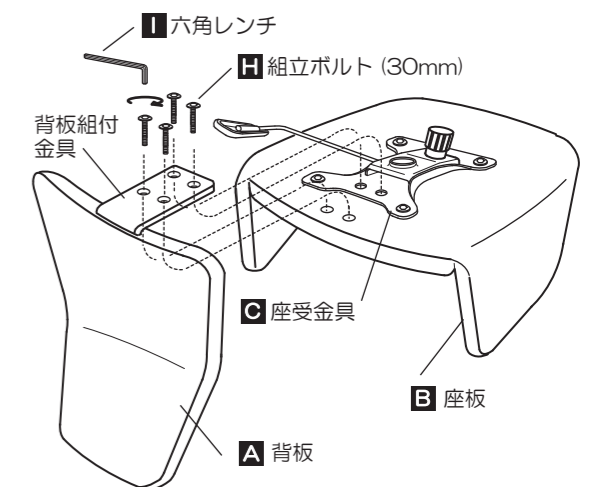


3. 背板の組立

- 2で組み立てた B 座板と、C 座受金具の計 4カ所の穴に、A 背板の組付金具の穴位置を合わせ、H 組立ボルト (30mm) 4本で留めます。

① 組み立てボルトは最初から強く締めずに仮締めしておき、4本とも取付けしてから最後に本締めをしてください。
→ 組み立て出来なくなる恐れがあります。

① 本締めは組立ボルトが回らなくなるまで強く締め付けてください。
→ 背板が外れてけがをする原因になります。



4. 全体の組み立て

- 1で組み立てた D 座高調整シリンダーを、2で取り付けた C 座受金具の穴に差し込んでください。

① 座板を下まで下げて体重をかけて強く座り、脚、シリンダー及び、座をしっかり固定してください。
→ 座板がはずれて、けが、破損の原因になります。

① 座の上に立たないでください。
→ 倒れて、けがをする原因になります。

